



Peg Amore ペグ・アモーレ

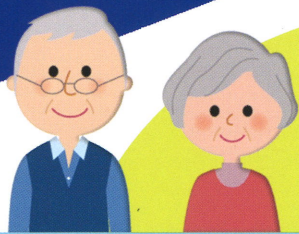
あたまの健康管理

指認証により個々人のデータ管理が容易です



認知機能測定&訓練

- 2分間で簡単スピード測定
- ひとりで簡単測定、楽しく訓練
- 高齢者1000人のデータに基づいて認知機能レベルを表示
- 多数の訓練モードで脳のトレーニング



最長寿国となった日本において、介護予防への取り組みは重要です。高齢者3461万人(平成28年)の4人に1人が認知症またはその予備群と言われており、あたまの健康管理がとてども大事です

ご使用方法

HOW TO USE

1. 最初に性別と年齢を設定します。
2. 次に「開始」鈕を押して測定開始、ランダムに表示された数字の小さい順にペグを挿入します。
3. 認知機能レベルの5段階評価が★で表示。

毎回表示が変わります



標準： ★3つの表示が標準レベルです。
要注意： ★2つ以下の表示が続くならば要注意です。

ご心配の場合は、しかるべき専門機関の窓口へご相談されることをおすすめします。



8週間のトレーニングを行った方に聞きました。

約70%の人が楽しいもしくはやや楽しいと感じています!

※ペグ・アモーレは、認知症の診断・治療・予防を目的とした医療機器ではありません。

あたまの健康管理 ペグ・アモーレ 認知機能測定&訓練

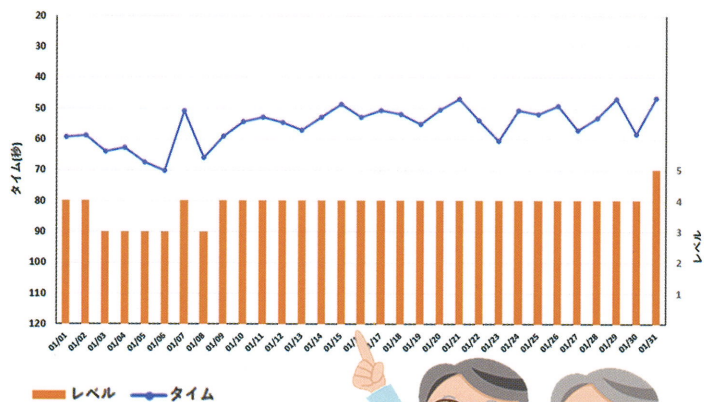
主な特徴

- ・2分間で簡単スピード測定
従来の多くは10分程度かかっていました。
- ・ひとりで簡単測定、訓練
従来の多くは面談形式で行う検査でした。
- ・高齢者1000人のデータに基づいて
5段階評価を★の数で表示します。
元気なうちからあたまの健康管理に取り組みます。
- ・誰でも気軽にできます。
精神的な負担がかかりません。
- ・多数の訓練モードがあります。(右表)
- ・過去の経緯が把握できるので、訓練を楽しく継続的に
行うことができます

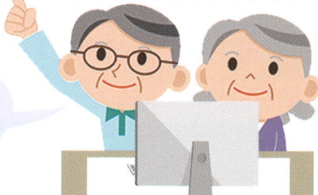
ペグ・アモーレをパソコンに接続することにより、
ペグ・アモーレ結果履歴の表示/印刷を行うことが
出来ます。

施設名: シロク
名前: 健康 太郎
性別: 男 年齢: 75歳

ペグ・アモーレ 結果履歴 モード: A-2



結果をデータとして残して
いけるのは便利だね!



訓練モード表

難易度1は練習用の小規模、難易度2はフルサイズのランダム配置、
難易度3はフルサイズの固定配置(C-3を除く)

- モードA: 数字による標準ゲーム(1、2、3と順番にペグを移動)
- A-1: 3*3, ランダム
 - A-2: 5*5, ランダム
 - A-3: 5*5, 固定配置(トレイルメイキングテストPart-Aに似たもの)
- モードB: 数字・平仮名混在の標準ゲーム。(1、あ、2、い、3という順番)
- B-1: 3*3, ランダム
 - B-2: 5*5, ランダム
 - B-3: 5*5, 固定配置(トレイルメイキングテストPart-Bに似たもの)
- モードC: 数字による集中力持続モード(ペグを入れて、抜いてを繰り返す)
- C-1: 3*3, 全ステージランダム
 - C-2: 5*5, 全ステージランダム
 - C-3: 5*5, 2ステージごとにランダム再配置
- モードD: フランカーモード(横に並ぶ記号のうち異なる記号を見つけ出す)
- D-1: 3*5, ランダム
 - D-2: 5*5, ランダム
 - D-3: 5*5, 固定配置(テスト用の規則的な物)
- モードM: 記憶モード(最初のパターンを覚えて、別の作業後に思い出す)
- M-1: 3*3, 表示5秒, ゲーム20秒, 回答5秒, ランダム3箇所
 - M-2: 5*5, 表示10秒, ゲーム30秒, 回答20秒, ランダム5箇所
 - M-3: 5*5, 表示10秒, ゲーム30秒, 回答20秒, 固定配置5箇所
- モードV: 動体視力モード(モグラたたきのように、光る箇所を追う)
- V-1: 3*3, ランダム
 - V-2: 5*5, ランダム
 - V-3: 5*5, 固定配置(テスト用の規則的な物)

従来のタッチパネルで行う製品と何が違うのか?

ペグ・アモーレと似たようなものに、タッチパネルのついたタブレットやスマートフォンにダウンロードして実行できるソフトウェアがあります。
これに対して、ペグ・アモーレはペグを使うことによって脳と直結する指先の動き(巧緻性)を取り入れたことと、認知機能テストとして世界的に定評のある「トレイルメイキングテスト」を組み合わせることにより、認知機能の測定精度が高く、訓練も楽しく行うことができるという特徴があります。

筑波大学 高細精医療イノベーション 研究コア長 大藏倫博 准教授が発明

筑波大学大藏研究室では、身体機能と認知機能との関連性の研究を行う中で、身体機能のうちペグを操作する指先の動き(巧緻性)が認知機能と最も強く相関するということを見出しました。
その成果の下、ペグ操作と「トレイルメイキングテスト」を組み合わせることにより、画期的な認知機能の測定・評価法が誕生しました。

*トレイルメイキングテスト

紙の上にランダムに記載された1から25までの数字を鉛筆で線を引ながら順番に辿っていき、その時間(秒)で評価する方法。認知機能の評価方法として妥当性や信頼性が高く、臨床分野で広く使われています。

株式会社シロクが電子化

非接触型センサーペグの開発に当社の特許技術を活かしました。健康分野への進出にあたって、筑波大学の大藏先生と出会い意気投合しました。元気な社会を作ることに貢献したいと考えています。



筑波大学 大藏倫博 准教授



(株)シロク 代表取締役 小川保二

Niroku

株式会社 シロク

〒305-0047 つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターC-B-3
TEL:029-849-5200(代表)TEL:029-811-7000(営業直)
FAX:029-849-5201



横浜市金沢区福浦1丁目7番地:
株式会社 新鋭産業
TEL 045(784)7881

・茨城県グローバルニッチトップ企業育成促進事業
の委託で筑波大学とシロクが共同開発